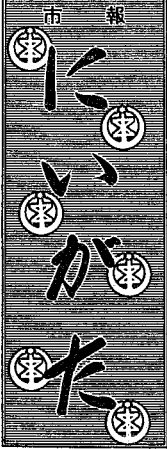


市勢発展の基盤づくりに全力を

川上市長の施政方針演説(要旨)＝3月議会



発行所 新潟市役所
新潟市西通町6番町
866
電話 代表(28)1000
編集人 高橋 甲子
(新潟市民会館副館長)
印刷所 第一印刷所

昭和五十五年 予算案特集

市は昨日五日から開かれた三月定例市議会に、五十五年度の一般会計予算案並びに、特別会計、企業会計予算案と四十六議案を提案しました。
川上市長は、提案に際し、「市民生活を守り、市民福祉を高め、さらに市勢発展の基盤づくりに全力をあげて取り組まなければならない」と、五十五年度市政への基本的な考えを明らかにしました。
本特集ではその施政方針を、面に、予算案からみる新年度事業の概要を②④面に紹介します。

市民生活優先が基本 進む都市基盤整備

一九八〇年代の幕明けは、内の政治、経済、そして国の内外を問わず、まさに、市民生活全面にわたって不透明、不確実の言葉とどからどうなるのか予測困難な状況の中にあつて、私は市政執行責任者として新たな決意をもって、市民生活

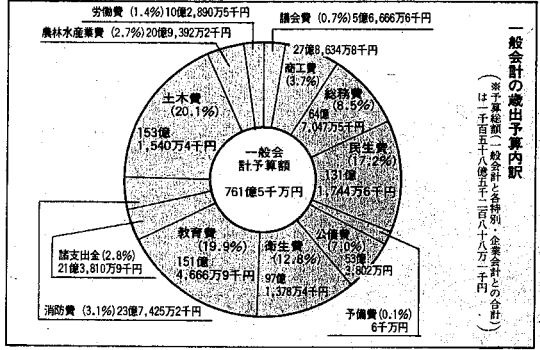


議場で施政方針を述べる川上市長

を守り、市民福祉を高め、さらに市勢発展の基盤づくりに全力をあげて取り組みなければならない」と考えているところであり、また、高速度自動車道の整備も進められているなど、これらは市勢の発展に大きな「ハズミ」を

力を加えつつある 拠点都市

さて、我が新潟市は人口四十五万人にのび、日本海沿岸の拠点都市としてその力を加えつつあり、さらに上越新幹線の開通を目前に控え、また、高速度自動車道の整備も進められているなど、これらは市勢の



税の伸び期待できず 借り入れと地方債で解決

歳入予算についてであり、さきほども若干ふれたとおり、五十五年度における財源確保の道は、非

即ち、地方財政計画では、国と同一基調のもと、歳出を極力圧縮し、税収の伸びを期待しつつ、財源不足を二兆五百十億と見ており、この財源不足につ

一般会計は761億円

「生活環境基準」に基づく行政計画との関連を意識

つることになると考えます。また、市民生活をめぐる諸条件整備も、例えれば長年にわたって巨額の投資を続けてきた公共下水道中部処理場の一部が竣工、いよ

「地方の時代」 市民が主役

「地方の時代」というのは、地方分権、地方自治の確立を指向しているものとして、今後、市民会を通じて、その実効ある措置の取組むべきことを進めていくべきであり、これからの工夫を加え、地方の時代にふさわしい市民の姿を求めながら努力を重ねたいと指すところで、各位のご指導、ご援助を賜りますようお願いいたします。

財政運営に 細心の注意

このように財政環境の中で、昭和五十五年当初予算案を策定したのであります。既に着手している都市基盤整備、いわゆるプロジェクトについては、その促進と、新規事業のための可能な配当をすること」を基本とし、さらにはこのような財政事情を踏まえて、き

市民本位の予算 経常経費は極力削減

私は、このような財政難を真剣に受け止めながらも、石油、ガス、電気などのいわゆる公共料金と呼ばれるものが、また、今後引き上げられていく中で、本市の税収が伸びることは、道筋を整える財

逆に本年度の交付実績を下回ることを予測されるのであります。一般財源の大宗をなす市調などを反映して、国庫支